

第 8 回 公 安 委 員 会 定 例 会 開 催 状 況

1 開催日時

令和 8 年 3 月 26 日（木）13 時 30 分～15 時 50 分

2 決裁事項

(1) 免許の取消し等

警察本部から、免許の取消し等について報告を受け、決裁した。

(2) 犯罪被害者等給付金支給の裁定

警察本部から、犯罪被害者等給付金支給の裁定について報告を受け、決裁した。

(3) 苦情の調査結果

警察本部から、苦情の調査結果について報告を受け、決裁した。

(4) 警察職員の援助要求

警察本部から、警察職員の援助要求について報告を受け、決裁した。

3 報告事項

(1) 犯罪抑止総合対策推進状況（2 月）

警察本部から、

- 刑法犯認知状況は、2 月末中で刑法犯総数が 1,499 件で、前年比 107 件の増加となっている。
- その内、最も多いのが窃盗犯の 959 件で、全体の約 6 割を占めている。
- 2 月中の被害の特徴としては、粗暴犯が 20 件の増加、特殊詐欺を含む知能犯が 24 件の増加と、それぞれ増加している。
- 窃盗犯全体は 27 件の減少で、窃盗犯の最も大きな割合を占める自転車盗は 8 件の減少となっている。
- 主な取り組みとしては、仕掛学を活用したアンブレラマーカの作成で、物を盗もうかと思う人間に躊躇させることと、持ち主に物を大切にしてくださいという効果が期待できる。
- 2 月末現在の特殊詐欺の認知件数は 54 件で前年比 14 件の増加、被害額は 3 億 5,390 万円で前年比 1 億 9,620 万円の増額となっている。
- 特徴としては偽警察官による詐欺が猛威を振るっており、オレオレ詐欺の内、9 割が偽警察官による詐欺となっている。
- その他、病院長と偽って、清掃業者に契約を持ち掛け、架空の業者にて消毒液を購入するように申し向けて、清掃業者に消毒液購入料金を支払わせるようにする手口が複数件発生している。
- 主な取り組みとしては、大型イベントにおける警察庁推奨特殊詐欺対策アプリ、ハレノポリスの集中広報である。

- 投資ロマンス詐欺は、SNS型投資ロマンス詐欺と合わせて、2月末現在の認知件数が36件で前年比15件の増加、被害額は6億140万円の前年比4億8,160万円の増額となっている。

○ 主な取り組みとしては、SNSや各種講話を通じた積極的な広報の推進である。旨の報告を受けた。

委員が、

「自転車盗が減少傾向にあることは、とても嬉しいことだが、社会的な情勢なのか粗暴犯の荒れ具合が激しくなっており、懸念事項だと思う。アンブレラマークは成果が出てくると思うため、期待している。」

「県民は、報道されている手口と異なる手口の投資詐欺であれば、『これは詐欺ではない』という思いになり騙されることになるため、地道に、丁寧に手口などを広報していく必要がある。」

旨を発言した。

(2) 重要事件認知・検挙状況（2月）

警察本部から、

- 2月中の重要事件認知件数は16件、検挙件数は持凶器強盗事件、未成年者誘拐未遂事件、不同意わいせつ事件等19件であり、2月中に認知した事件で未検挙はない。
- 2月末現在、認知件数は27件、検挙件数は27件で、検挙率は100%となっており、全国順位は10位と、前回の28位から上昇している。

旨の報告を受けた。

委員が、

「社会情勢を表しているのか、未成年の女性が狙われる不同意性交や不同意わいせつが多いことが非常に目立つが、早期に検挙をしているのは、一生懸命に活動をした成果であると思うため、引き続きお願いしたい。」

「粗暴犯が増えるなどしているのは、今の社会現象となっているため、取締りを強化しながら、生活安全部と連携して情報発信を行い、安心安全な岡山の実現をお願いしたい。」

旨を発言した。

(3) 令和8年春の交通安全県民運動の実施

警察本部から、

- 令和8年春の交通安全県民運動は、令和8年4月6日から15日の期間で行い、交通事故死ゼロを目指す日は4月10日とする。
- 過去5年間を見ると、春の交通安全県民運動期間中の交通事故死ゼロを目指す日の死亡事故件数は0件である。
- 10日間に発生する交通事故件数を調べたとき、交通安全県民運動期間中は期間外と比較して減少傾向にあり、効果があると考えられる。
- 運動重点は
 - 通学路・生活道路におけるこどもを始めとする歩行者の安全確保
 - 「ながらスマホ」の危険性に関する広報啓発

○ 自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールを理解・遵守の徹底である。

○ 運動重点を踏まえ、警察の推進項目を

- 歩行者の安全確保を始めとした交通事故防止対策の徹底
- 通学路におけるこどもの安全確保に向けた指導取締りの強化
- 携帯電話使用等違反の根絶に向けた取締りの強化
- 自転車の交通ルール遵守とヘルメットの着用等安全利用の促進

と設定した。

○ 4月6日に岡山駅の地下広場で推進大会を行う予定である。

○ 4月10日には倉敷警察署で、金メダリストの木村葵来選手に一日警察署長を委嘱して、イオン倉敷でチラシ広報を行う予定である。

旨の報告を受けた。

委員が、

「生活道路で、運転手がスピードを落とさなければいけないという意識を持たせることが必要であり、特に、通学路で小さい子供が巻き込まれるような事故が起きないようにすることが必要である。」

「高校生の自転車ヘルメット着用促進は、学校側と協力をして実効性を高めていく必要がある。」

旨を発言した。

(4) 令和7年度大規模整備事業の完遂

警察本部から、

- 電話交換機の更新により、セキュリティの強化、障害発生時の現用機から予備機へ素早く切り替わるような冗長化による信頼性の向上が図られた。
- 基幹通信網に更新により、各警察署間の回線帯域の拡大、冗長化による耐災害対策性能の強化が図られた。
- 情報インフラの見直しに伴い、県内の一部無線局の廃止を行った。

旨の報告を受けた。

委員が、

「通信設備は時代にマッチした機能性のあるものを整備して、冗長性を確保することが重要である。」

「情報は速さと繋がりやすさが要になるところであるため、引き続き、通信基盤の整備をお願いしたい。」

旨を発言した。

(5) 非違行為

警察本部から、非違行為について報告を受けた。

(6) 中学校卒業式後の問題行動に対する警備実施

警察本部から、中学校卒業式後の問題行動に対する警備実施結果について報告を受けた。

(7) 特定抗争指定暴力団等の指定延長に係る報告徴収の結果

警察本部から、特定抗争指定暴力団等の指定延長に係る報告徴収の結果について報告を受

けた。

4 次回公安委員会

令和8年4月2日（木）13時10分から開催予定